



さんが

第一一二号

令和四年

西暦二〇二二年

正月

曹洞宗 東運寺

京都市伏見区淀新町六一八一

TEL 〇七五-六三一-二二七二

FAX 六三一-五七二五

E-MAIL [sanga@tounji.net](mailto:sanga@tounji.net)

謹賀新年

玉龍山東運寺

住職 柳田彰宣

寺族 マヤ

妙子



画 妙子

去年はコロナの影響なのか、時間が早く過ぎていく、とおっしゃる方が多いように感じました。

もちろんコロナであろうとなかろうと、どんな人でも、おなじように時間は過ぎていくものです。わかつてはいるものの、そう言われると、少し味気なくも思います。

ですが、時間にアタフタすることも避けたいところ。今年時間は忘れるほどの、安らぎや幸せに満ちた毎日でありたいですね。

ご本尊さまのもと、東運寺も新しい年をむかえました。檀信徒皆さまのご多幸を、心よりお祈り申し上げます。

# 薬師堂 開けております

元旦から八日まで、薬師堂を開けております。

お堂の中には、ご本尊お薬師さまだけでなく、日光・月光菩薩さまや十二神将など、あわせて十五体の仏像がおまつりされています。

日光・月光菩薩さまには、お薬師さまの功德が、昼夜問わずにもたらされるように、という願いが込められています。

十二神将は、お薬師さまを外敵から守る役割を担っておられます。

お薬師さまの功德は、人々の病苦を救うというもの。今年も息災で過ごせますように、お参りくださいませ。



お薬師さまと、その脇をしつかりと固める、日光菩薩さま(右)と、月光菩薩さま(左)です。

# 先住三回忌 ぶじに勤まりました

昨年十二月三日の命日に、先代(東堂)泰明大和尚の三回忌を、縁あるお寺さま、東運寺役員のみなさま、そして親族のみにて執り行わせていただきました。

二年経って、何か聞きたいことがあっても、もう教えてもらうことはできないのだな、とあらためて実感しています。



法要当日は、書院に先代の書いたお軸を掛けました。

「けいせいさんしよく」と読みます。自然はもちろん、自分のまわりにあるあらゆるものが、仏さまの教えを説いているのだ、という禅の言葉です。



↑ ホームページ



↑ LINE

東運寺ホームページは→

京都 東運寺 検索